

財務諸表等承認の適否に係る意見決定に当たっての視点

1 財務諸表関係

(1) 法規準拠性

監事の監査報告書において、財務諸表の承認に当たり特に考慮すべき意見はないか。

(2) 表示内容の適正性

表示科目、会計方針等の遺漏、数値の不整合はないか。

2 剰余金繰越関係

(1) 収容定員の充足状況

中期目標期間中の「収容定員に対する在籍学生数の比率」の年平均値が0.9以上であるか。

(2) 中期目標等の達成状況

① 中期目標全体の達成状況は、「標準（B評価）」以上であるか。

② 中期計画において、明らかな業務懈怠により「未達成（評価1点）」となった項目はないか。

※各事業年度における剰余金繰越承認の視点との比較

各事業年度	中期目標期間の最後の事業年度
(1) 収容定員の充足状況 収容定員に対する在籍学生数の比率が0.9以上	(1) 収容定員の充足状況 中期目標期間中の「収容定員に対する在籍学生数の比率」の年平均値が0.9以上
(2) 中期計画の達成状況 ① 中期計画全体の進捗状況が「標準（B評価）」以上 ② 年度計画において、明らかな業務懈怠により「未達成（評点1点）」となった項目がない。	(2) 中期目標等の達成状況 ① 中期目標全体の達成状況が「標準（B評価）」以上 ② 中期計画において、明らかな業務懈怠により「未達成（評点1点）」となった項目がない。

(参考)

1 収容定員の充足状況

(単位：人、%)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	平均値
収容定員	1,229	1,248	1,267	1,286	1,305	1,305	
在籍学生数	1,389	1,418	1,447	1,445	1,442	1,431	
充足率	113.0	113.6	114.2	112.4	110.5	109.7	112.2

注) 収容定員と在籍学生数は、学部と大学院の合計値を計上

2 中期目標・中期計画の達成状況

(1) 中期目標の達成状況

法人の自己評価（全体評価）

B（中期目標を概ね達成）

(2) 中期計画の最小単位別評価の評点の内訳

法人の自己評価（最小単位別評価）

項 目	中期計画 項目数	最小単位評価の評点の内訳				
		5点	4点	3点	2点	1点
第1 教育研究等の質の向上	138	4	17	115	2	0
第2 業務運営の改善及び効率化	41	0	8	28	5	0
第3 財務内容の改善	13	1	4	8	0	0
第4 自己点検、評価及び当該状況に係る情報の提供	5	0	0	5	0	0
第5 その他業務運営	4	0	1	3	0	0
計	201	5	30	159	7	0

3 認可中期計画（第2期）に定める剰余金の使途

教育研究並びに組織運営及び施設設備に係る経費の財源に充てる。